

### Ⅲ 主な事業について

## 1. 暮らし・コミュニティ

### 創造戦略1: 地域福祉力創造戦略 ～市民が孤立することのない地域づくり～

#### 生活困窮者自立支援事業費【保】総務部】

255,800千円

市内に拠点相談窓口を1か所設置し、生活困窮世帯に対して就労などの問題に関する相談支援・住居確保のための給付金の支給を行うほか、中学生への学習支援・ホームレスに対する一時的な生活支援など、幅広い支援を行います。

#### 広域型特別養護老人ホーム新築費等補助金【保】高齢保健福祉部】

555,000千円

特別養護老人ホーム(特養)及び特養内の福祉避難場所用スペースの整備を促進するため、事業者に対して補助金を交付します(特養:定員80人6か所、避難場所用スペース6か所(いずれも平成26年度着工分3か所、平成27年度着工分3か所))。

#### 耐震補強事業費【教】生涯学習部】

2,516,000千円

Is値0.7未満の学校施設について耐震補強を行うとともに、屋内運動場等の天井の落下物防止対策を実施します。なお、これにより今後改築を予定している学校を除く全ての学校施設の耐震補強が完了します。(平成27年度:耐震補強12校、天井落下物防止対策65校)

#### その他の主な取組

##### ・福祉のまち推進センター事業費【保】総務部】 93,200千円

よりきめ細かな見守り活動等ができるよう支援を強化

##### ・地域保健活動推進事業費【保】保健所】 5,600千円

地域住民等と連携した保健師による地区診断、個別支援の充実、自主的な健康づくり活動等の支援などの地域保健活動の実践

##### ・避難場所環境整備費【危機管理対策室】 79,300千円

小中学校の備蓄物資配置場所等を整備(平成27年度整備:31校 累計224校)

# 1. 暮らし・コミュニティ

## 創造戦略2: 共生社会創造戦略 ~全ての市民が社会に参加できる地域づくり~

### 子ども子育て支援新制度関連【子ども未来局】

平成27年4月から、保育、幼児教育、子育て支援の「質の向上」と「量の拡充」を目的とした「子ども・子育て支援新制度」が本格スタートします。この新たな仕組みにより、「小規模保育」などの新たな認可形態の創設や、短時間利用保育(8時間)が新設されるほか、幼稚園と保育所の機能を併せ持つ認定こども園の普及等を行います。

～主な事業～

- ・施設型給付費(保育所、認定子ども園、幼稚園) 24,406,711千円  
保育所、幼稚園、認定子ども園の運営のために必要な給付をするものです。27年度から幼稚園が新たに給付の対象となります。
- ・小規模保育事業費 1,222,752千円  
定員19人以下の小規模保育の運営のために必要な給付をするものです。27年度から小規模保育は43か所増え、45か所となる見込みです。
- ・私立保育所整備費等補助金 1,891,591千円  
保育所増改築2件で60人、認定子ども園の整備12件で556人の計616人の保育定員増を図ります。
- ・児童会館・ミニ児童会館運営管理費 4,292,630千円  
職員の配置基準が「おおむね40人に1人」から「2人」に改善されます。

### 仮称)南部高等支援学校整備費【教)生涯学習部】

250,000千円

高等支援学校の市内北部偏在を解消するため、旧真駒内小学校敷地に仮称)南部高等支援学校を整備します。平成29年度の開設に向け、27年度は実施設計及び旧真駒内小学校校舎等の解体工事を行います。

### その他の主な取組

- ・子どもの体験活動の場事業費【子)子ども育成部】 32,000千円  
旧真駒内緑小学校の跡施設を活用し、子どもが主体的に様々な体験活動を行う空間を提供
- ・元気ジョブアウトソーシングセンター運営事業費【保)障がい保健福祉部】 23,881千円  
障がい福祉施設等による役務提供サービスについて官公署や企業への営業やマッチング等を実施
- ・学びのサポーター活用事業費【教)学校教育部】 112,859千円  
特別な教育的支援が必要な子どもに学習活動における支援や日常生活動作の介助などを行うため、学びのサポーターを配置

# 1. 暮らし・コミュニティ

## 創造戦略3: 地域マネジメント創造戦略 ～地域資源の活用の推進～

### 地域活動活性化関連【市）地域振興部】

人口減少、超高齢社会において重要な人と人とのつながりによる地域コミュニティの形成を促進するとともに、地域のまちづくり活動の担い手となる人材を発掘、育成します。

～主な事業～

・町内会活動総合支援事業費 30,000千円

町内会加入促進に向けて各種メディア等で普及啓発を図るとともに、町内会自らが行う加入促進策を支援する地域を3区から全区に拡大します。

・次世代の活動の担い手発掘育成事業費 3,470千円

地域のまちづくりの担い手を発掘育成するため、小学生にまちづくりセンター所長を体験してもらうなど、小中学生、高校生、若者など幅広い年代のまちづくり活動への参加を促進します。

・まちづくりセンター・地区会館更新事業費 93,600千円

地域まちづくり活動の拠点であるまちづくりセンターの更新を行います。27年度は老朽化した北白石まちづくりセンターの建替を行います。

### 除雪費関連【建）土木部】

17,564,032千円

市内5,407kmの車道等の除雪や運搬排雪などを行うほか、555か所のロードヒーティングや流雪溝、融雪槽の維持管理などを行います。また、小学生を対象とした除雪車への試乗や通学路における危険箇所のマップ作りなどの雪体験授業を行います。

### 2017年アジア冬季競技大会関係費【観）スポーツ部】

660,000千円

平成29年2月に開催するアジア冬季競技大会の競技プログラムの策定、本大会に向けた検証(テストイベント)等を行うとともに、組織委員会の運営等に対する補助・貸付を行います。

### その他の主な取組

・地域の健康づくり推進事業費【保）保健所】 1,973千円

地域における自主的な健康づくりを推進するため、健康づくりサポーターを派遣等

・地域スポーツマスター活用事業費【観）スポーツ部】 1,886千円

地域で活動するスポーツ指導者を発掘・活用するための高齢者を含む人材リストの作成及び学校のスキー学習への地域スポーツ指導者の派遣

## 2. 産業・活力

### 創造戦略4：札幌型産業創造戦略 ～新たな価値の創造による産業の高度化～

#### 企業立地促進費【経）産業振興部】

432,500千円

市内及び近郊への企業の立地や設備投資の活性化のための補助を行うことにより、雇用の創出や地域経済の活性化、産業基盤の強化を図ります。

#### 中小企業金融対策資金貸付金【経）産業振興部】

80,736,700千円

中小企業者の経営基盤の強化及び健全な発展と振興を図るため、運転資金や設備資金等の事業活動に必要な資金を供給します。

#### 雪まつり関係費【観）観光コンベンション部】

303,537千円

本市の冬の最大の魅力であるさっぽろ雪まつりについて、運営補助やアートを取り入れた雪像制作等を行います。

#### その他の主な取組

- ・6次産業活性化推進事業費【経）産業振興部】 44,719千円  
道内の1次生産者と市内2次、3次産業者の連携による新商品開発支援や、企業間マッチングによる連携を促進
- ・アジア圏等経済交流促進事業費【経）産業振興部】 30,124千円  
食品輸出活性化支援、グローバル化支援等により、市内企業の海外事業展開を促進
- ・国際観光促進事業費【観）観光コンベンション部】 21,330千円  
中国やシンガポールなどアジアを中心とした海外からの観光客誘致に係る事業の実施
- ・札幌型環境・エネルギー技術開発支援事業費【経）産業振興部】 53,725千円  
札幌ならではの環境産業等の振興のため、市内中小企業の技術開発や首都圏展示会出展を支援

## 2. 産業・活力

### 創造戦略5: 都市ブランド創造戦略 ~道内循環を高め、道外需要を取り込む手法と基盤づくり~

#### 札幌コンテンツ特区推進関連【経】産業振興部】

139,176千円

平成23年12月に国から指定された「札幌コンテンツ特区」の推進のための特区推進組織の運営や海外への商談会の出展支援、市内でのロケ撮影に対する助成、市内映像事業者を活用した海外プロモーションを行う事業者への支援などを行います。

#### MICE推進事業費【観】観光コンベンション部】

27,000千円

札幌のMICE※を推進するため、見本市への出展や企業訪問、商談会等への参加を行うほか、MICEの開催地決定にあたってのキーパーソンの招請や海外向け広報PRを実施します。

※MICE・・・企業などの会議(Meeting)、報奨旅行(Incentive Travel)、国際会議(Convention)、展示会・イベント(Exhibition/Event)の頭文字のことであり、多くの集客交流が見込まれるビジネスイベントなどの総称

#### 創造都市さっぽろ推進事業費【政】政策企画部】

28,164千円

創造都市さっぽろ推進のため、ユネスコ創造都市ネットワーク加盟を生かした国際交流、市民の映像作品の発表などを通じて創造性の誘発を図る札幌駅前通地下歩行空間北2条広場メディア空間の運営等を実施します。

#### その他の主な取組

- ・道内地域活性化連携事業費【政】政策企画部】 7,871千円  
札幌の情報発信機能等を活用した道内市町村との連携事業を実施
- ・シティプロモート推進費【政】広報部】 10,911千円  
札幌市の総合的なブランドづくりや効果的な魅力発信を行うため、シティプロモートを推進
- ・丘珠空港関連事業調整費【市】総合交通計画部】 64,026千円  
マスメディアを活用した広報など丘珠空港の利用促進に係る取組等

## 2. 産業・活力

### 創造戦略6：産業人材創造戦略 ～将来の札幌・北海道経済を支える人材の育成・活用～

#### 課題探究的な学習モデル研究事業費【教）学校教育部】

21,400千円

平成27年度開校の市立札幌開成中等教育学校において、国際バカロレアカリキュラムや情報通信機器を活用した課題探究的な学習モデルを研究します。

#### 外国語指導助手関係費【教）学校教育部】

348,000千円

外国語教育における児童生徒のコミュニケーション能力の育成と国際理解教育の一層の充実を図るため、小・中学校及び高等学校に外国語指導助手を78人配置します。

#### 女性起業家育成事業費【経）産業振興部】

2,300千円

女性中小企業診断士による経営相談や女性起業家交流会の開催等により、女性の起業を支援します。

#### その他の主な取組

##### ・観察・実験アシスタント事業費【教）学校教育部】 12,344千円

小学校での理科の学習における観察・実験活動の充実を目的とし、外部人材を観察・実験アシスタントとして活用

##### ・進路探究オリエンテーリング事業費【教）学校教育部】 7,300千円

専修学校・各種学校と連携し、夏休み期間中に、中学生対象の職業体験講座を実施

##### ・ワーク・ライフ・バランス推進事業費【子）子ども育成部】 7,357千円

ワーク・ライフ・バランスに配慮する職場環境づくりに取り組む企業の支援

# 3. 低炭素社会・エネルギー転換

## 創造戦略7: 低炭素都市創造戦略 ～環境負荷の少ない都市の形成～

### 公園事業総括【環】みどりの推進部】

2,990,958千円

月寒公園や街区公園などの公園整備を行うほか、利用者のニーズに対応した公園の再整備や老朽化した公園施設の改修等を行います。

### 歩行者と自転車の共存する空間の創出事業費【建】総務部】

190,000千円

都心部における駐輪場の整備を、官民協働や再開発の手法により行います。また、西2丁目地下駐輪場の工事に着手します。

### 太陽光パネル設置費【教】生涯学習部】

318,000千円

児童生徒や地域住民の環境意識の向上及び環境教育を推進するため、小学校9校、中学校1校に太陽光パネルを設置します。  
(27年度末設置校数見込み: 小学校107校、中学校43校)

### その他の主な取組

- ・都市構造強化推進事業費【市】都市計画部】 9,000千円  
都市計画マスタープランの見直しに係る検討
- ・都市再開発方針策定等関連費【都】市街地整備部】 4,700千円  
都市再開発方針の策定
- ・生物多様性推進事業費【環】環境都市推進部】 9,924千円  
希少種配慮ガイドラインの作成や生物のモニタリング調査など生物多様性さっぽろビジョンに基づく各種取組の推進
- ・都心・幹線みどりのボリュームアップ事業費【環】みどりの推進部】 47,600千円  
都心部・主要幹線での緑量感ある街路樹管理

### 3. 低炭素社会・エネルギー転換

#### 創造戦略8：次世代型エネルギー創造戦略 ～エネルギー効率と安定性の向上～

##### 駒岡清掃工場更新事業費【環）環境事業部】

48,000千円

駒岡清掃工場の更新に向け、高効率なエネルギー回収システムの導入などを盛り込んだ基本計画を策定します。

##### 札幌省エネアクションプログラム事業費【環）環境都市推進部】

12,194千円

省エネ技術の普及促進に向けて、市有施設に導入したエネルギー見える化システムの検証や省エネ技術の講習会を行います。

##### エコリフォーム促進事業費【都）市街地整備部】

120,000千円

環境負荷の低減（省エネ）やバリアフリーに係るリフォームに対する補助を行います。

##### その他の主な取組

- ・白石清掃工場高効率機能維持整備費【環）環境事業部】 817,000千円  
白石清掃工場の発電能力回復のための工事を実施
- ・家庭の生ごみ減量・リサイクル推進事業費【環）環境事業部】 18,580千円  
生ごみ堆肥化セミナーの実施や電動生ごみ処理機の助成など市民の家庭における生ごみ減量に対する取組を支援
- ・次世代エネルギーシステム導入補助事業費【環）環境都市推進部】 122,068千円  
過年度に金融機関が行った新エネ・省エネ機器購入者への無利子貸付に対する利子補給金及び預託金

## 4. 都市空間創造戦略

### 仮称)市民交流複合施設整備事業関連

創世交流拠点のまちづくりを先導するため、北1西1地区市街地再開発事業を推進するとともに、今後の札幌の文化芸術・創造的な市民活動の拠点となる仮称)市民交流複合施設や公共駐輪場を整備します。平成30年秋の供用開始を目指します。

- |                                     |             |
|-------------------------------------|-------------|
| ・市民交流複合施設整備費（高機能ホール、アートセンター）【観)文化部】 | 4,280,115千円 |
| ・北1西1地区再開発事業費【都)市街地整備部】             | 3,462,000千円 |
| ・歩行者と自転車の共存する空間の創出事業費【建)総務部】        | 53,600千円    |
| ・都心にふさわしい図書館整備費【教)中央図書館】            | 257,200千円   |

### 白石区複合庁舎等整備関連

地下鉄白石駅に隣接した市有地に、区役所をはじめ、保健センター、区保育・子育て支援センター、仮称)絵本図書館などの公共施設を地域交流拠点にふさわしい機能を備えた複合庁舎として整備します。27年度は建築工事等が本格化し、28年秋以降に供用開始します。

- |                                |             |
|--------------------------------|-------------|
| ・白石区複合庁舎等整備事業費【市)地域振興部】        | 1,081,500千円 |
| ・白石区複合庁舎等整備事業費（保健センター分）【保)保健所】 | 150,170千円   |
| ・区保育・子育て支援センター整備費【子)子育て支援部】    | 95,062千円    |
| ・仮称)絵本図書館整備費【教)中央図書館】          | 64,747千円    |

### ホッキョクグマ・アザラシ館建設費【環)円山動物園】

1,150,000千円

国内でのホッキョクグマの繁殖を持続可能なものとするため、新たに海外からのホッキョクグマの受入れも可能となるホッキョクグマ・アザラシ館の建設に着手します。

## 4. 都市空間創造戦略

### 苗穂駅周辺地区まちづくり関連

苗穂駅の移転橋上化や中央体育館改築などの整備を行うとともに、交通結節機能の向上を図ることにより、苗穂駅周辺地区における南北分断等の地域課題を解消し、都心と苗穂地区の回遊性を向上させる拠点を形成します。

- |                          |             |
|--------------------------|-------------|
| ・ 苗穂駅周辺地区整備事業費【(建)土木部】   | 225,600千円   |
| ・ 苗穂駅移転橋上化事業費【(都)市街地整備部】 | 1,199,000千円 |
| ・ 中央体育館改築事業費【(観)スポーツ部】   | 89,000千円    |

### 民間建築物耐震化促進事業費【(都)建築指導部】

380,000千円

福祉施設、学校、医療施設、共同住宅、大規模な店舗やホテル等の耐震診断、耐震設計、耐震改修工事等に対して補助を実施するとともに、相談窓口を設置するなど普及啓発を行います。平成27年度は、耐震診断が義務化された要緊急安全確認大規模建築物※の耐震改修工事に対する補助を新設します。

※要緊急安全確認大規模建築物・・・昭和56年5月31日以前に建築された建築物の中で、不特定多数の者が利用する大規模なもの等。平成25年の耐震改修促進法の改正により、耐震診断の実施と報告が義務化された。

### その他の取組

- ・都心まちづくり計画関連事業推進費【(市)都市計画部】 7,800千円  
新たな都心まちづくり計画の策定及び計画を具体化するためのマネジメント体制や展開プログラムの検討
- ・北2西3北地区優良建築物等整備事業費【(都)市街地整備部】 200,000千円  
優良建築物等整備事業費補助
- ・大通東4地区優良建築物等整備事業費【(都)市街地整備部】 200,000千円  
優良建築物等整備事業費補助

## 5.特別会計予算の概要

予算額 3,914億円 (前年度比8.5%増)

### 土地区画整理会計

予算額33億円

- 東雁来第2地区土地区画整理事業の工事費の増等により、前年度比14.0%の増となります。

### 駐車場会計

予算額4億円

- 円山公園第2駐車場の立体化工事費の減等により、前年度比53.3%の減となります。

### 母子父子寡婦福祉資金貸付会計

予算額2億円

- 母子及び寡婦福祉資金の貸付額の減により、前年度比3.5%の減となります。

### 国民健康保険会計

予算額2,304億円

- 保険財政共同安定化事業の拡大等により、前年度比11.2%の増となります。
- 一般会計から、一世帯あたり保険料を軽減するための市独自の繰入金80億円を含めて、総額227億円の繰入を受けます。

### 後期高齢者医療会計

予算額232億円

- 保険料負担金の減に伴う北海道後期高齢者医療広域連合負担金の減等により、前年度比1.3%の減となります。
- 一般会計から、保険料を軽減するための法定の繰入金40億円を含めて総額51億円の繰入を受けます。

### 介護保険会計

予算額1,318億円

- 居宅や施設の介護保険サービス利用者の増加に伴う保険給付費の増等により、前年度比6.4%の増となります。
- 一般会計から、保険給付に係る費用の市町村負担分(12.5%)など、総額220億円の繰入を受けます。

### 基金会計

予算額21億円

- 基金の財産貸付収入は減少するものの、預金等利子の収入の増により、前年度比1.6%の増となります。

## 6. 企業会計予算の概要

予算額 2,806億円 (前年度比3.5%減)

### 病院事業会計

予算額 273億円  
(前年度比19.8%減)

#### 安全で質の高い医療の提供

安全で質の高い医療を提供するため、高度医療機器の更新・整備を行います。また、医師や看護師の負担軽減を図るため、医師事務作業補助者や看護補助者を増員いたします。

#### 効率的な経営に向けた取組

多様化する医療ニーズに対応しつつ、安定的かつ継続的に医療サービスを提供するため、地域の医療機関との連携を一層推進するなど、より効率的な病院経営を目指します。

収益的収入	237億円
収益的支出	237億円
差引	0億円
未処理欠損金	100億円

### 中央卸売市場事業会計

予算額 42億円  
(前年度比7.9%減)

#### 安全で安心な生鮮食料品の供給

安全で安心な生鮮食料品の安定供給を堅持していくとともに、中央拠点市場としての機能強化のため、老朽化した場内の設備機器類の更新を行います。

#### 健全経営に向けた取組

老朽化施設の更新や災害対策など、経費の増加が見込まれる厳しい経営環境の中で、健全な事業運営を継続するため、計画的・効率的な事業執行を行い、引き続き、より一層のコスト削減に努めます。

収益的収入	24億円
収益的支出	27億円
差引	▲ 3億円
未処理欠損金	58億円

### 軌道事業会計

予算額 21億円  
(前年度比57.8%減)

#### 安全の確保

安全運行の確保のため、老朽化した施設の改修や、安全性向上のため既存の車両を改良します。

#### まちづくりへの貢献

街路拡幅事業に合わせて、架線柱の撤去・新設を行います。

また、平成28年度からの既設線停留場のバリアフリー化工事に向けて、実施設計を行い、全ての人が利用しやすい路面電車を目指します。

収益的収入	15億円
収益的支出	17億円
差引	▲ 2億円
未処理欠損金	8億円

## 高速電車事業会計

予算額 907億円  
(前年度比2.0%減)

### 安全の確保

安全運行を確保するため、平成28年度の東豊線ホーム柵設置に向けて老朽化した車両の更新を行います。また、防災対策として南北線高架駅の耐震改修工事等を順次進めます。

### 快適なお客さまサービスの提供

地下鉄・路面電車のSAPICAなどのICカードの利便性を高めるため、改札機のIC対応化の更新を進めます。

### まちづくりへの貢献

駅照明設備のLED化や案内標識の非電照化など省エネ対策を進めます。

また、南北線さっぽろ駅、南北線大通駅、すすきの駅に公衆無線LANフリーアクセスポイントを増設します。

収益的収入	485億円
収益的支出	422億円
差引	63億円
未処理欠損金	2,118億円

## 水道事業会計

予算額 683億円  
(前年度比3.8%増)

### 安全で安定した水道水の供給

安全で安定した水道水をお届けするため、施設・設備の更新などを計画的に行います。

また、災害対策として、水道施設の耐震化や送水管の多重化、災害時重要施設（医療機関等）へ向かう配水管の耐震化等を進めます。

### 健全経営の維持に向けた取組

経年劣化に伴う施設の更新等により、経費の増加が見込まれる厳しい経営環境の中で、計画的・効率的な事業執行と、より一層のコスト削減に努め、健全経営の維持に努めます。

また、企業債残高の縮減を行いながら、将来の施設更新を見据えた財政基盤の強化を図ります。

収益的収入	454億円
収益的支出	361億円
差引	93億円
未処理欠損金	なし

## 下水道事業会計

予算額 880億円  
(前年度比1.0%減)

### 安全で安心な市民生活の維持

適切な維持管理と計画的な改築を進めるとともに、水害や地震といった災害に備え、東雁来雨水ポンプ場の整備などの浸水対策や、下水道施設の耐震化を進めます。

### 環境に与える負荷の低減

水環境を保全するため、吐口対策を進め、合流式下水道の改善に努めます。また、低炭素社会の実現に向け、下水道の未利用エネルギーの活用を進めます。

### 健全で持続可能な経営

計画的・安定的な事業運営に努めるとともに、経営効率化策や人材育成に取組み、経営基盤を強化し、健全で持続可能な経営を目指します。

収益的収入	534億円
収益的支出	499億円
差引	35億円
未処理欠損金	なし